

今回は、1月14日に行われた口腔顔面痛診断実習セミナーについて東京女子医科大学の宇田川 源先生に報告していただきます。

口腔顔面痛診断実習セミナー参加報告

東京女子医科大学 歯科口腔外科学教室 宇田川 源

2019年1月14日(日)、慶應義塾大学病院第2校舎4階講堂にて、口腔顔面痛診断実習セミナーが開催された。昨年9月30日に開催予定であったが、東京へ大型台風接近のため延期され、我々受講者にとっては、待ちに待った診断実習セミナーへの参加となった。会場には開業医、大学勤務医など各地より大勢の参加者が集まった。冒頭、企画運営委員長の村岡 渡講師(川崎市立井田病院口腔外科・慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教室)より、本セミナーのプログラムの解説と、口腔顔面痛セミナーの年間スケジュールや学会独自のスキルアップシステムについての紹介があった。



会場風景

セミナーは、A～D班の1班6名、4グループに分かれ、各グループのインストラクターの紹介の後、受講者の理解レベルを確認するためのプレテストが行われた。プレテストでは非歯原性歯痛、臨床診断推論、疼痛構造化問診、筋・筋膜性疼痛、DC/TMDに準じた筋触診法、神経障害性疼痛、脳神経検査法などセミナー内容に沿った項目から問題が出題され、受講前の自己評価に有用であった。

本セミナーでの臨床診断推論実習は、①概論→②症例提示→③診断に必要な知識や診察・検査法の説明→④臨床診断推論→⑤最終(確定)診断という順番で行われる。

① 始めに、和嶋浩一講師(慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教室)から「臨床診断推論」入門として、痛みの診断の進め方について、仮説演繹法による臨床診断推論を、診断ステップごとにわかりやすく実践的に解説していただいた。

② 続いて、村岡講師より、歯痛および顔面痛が主訴である症例が提示された。

③ 次に、筋・筋膜性疼痛の診察・検査法について小見山 道講師(日本大学松戸歯学部口腔健康学講座顎口腔機能治療学分野)が解説され、インストラクターの指導のもと、グループごとに



筋触診の相互実習

筋触診による検査方法と Palpeter による触診圧のキャリブレーションを相互実習で経験した。私を含め、多くの受講生が歯への関連痛を体験することができ、有意義であった。

④ 午前の最後に、1症例目についての臨床診断推論実習が行われた。グループごとに進行役・発表役・書記を決め、進行役のリードにより包括的病歴聴取から鑑別診断を挙げる。次に、鑑別疾患を除外・確認するために、追加の問診項目があればインストラクターにたずねて回答を得る。また、診断に必要な検査データが不足している場合は、そのデータをインストラクターに要求する。インストラクターはデータを持っているが、

要求しなければ提示されないため、受講生は、「診断に必要な検査」を思いつかなければならない。

- ⑤ その後、各グループの発表役受講生が、グループの鑑別診断、最終診断を発表した。推論実習前に行われた講義や触診実習で学習した内容によって、多くのグループが正しい最終診断を導くことができた。

最後に村岡講師から、当症例における臨床診断推論のすすめ方について詳しい解説があり、問診と臨床検査を注意深く解析していくことが重要である点を確認した。



聴覚に関する 12 脳神経の診査風景

に必須であるが、手技自体は簡便で実用的であると感じた。

続いて、坂本英治講師（九州大学大学院歯学研究院歯科麻酔学）が神経障害性疼痛の診査法について、チェアサイドで行うことができるスクリーニング検査や、診断のための定

性感覚検査および定量感覚検査について解説された。その後、綿棒・つまようじ・金属スパチュラなどの身近な材料を利用した定性感覚検査を体験した。



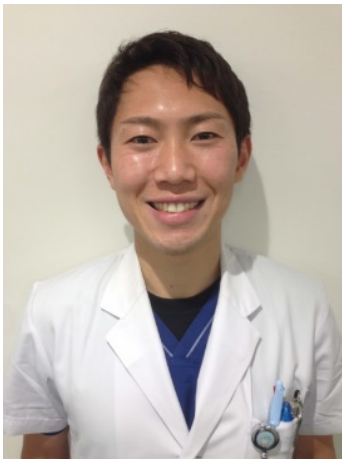
定性感覚検査の実習風景



2 症例目の臨床診断推論実習も、1 症例目と同様に行われ、各グループの発表の後に、西須講師から当症例における臨床診断推論についての詳説があり、グループにおける討議内容の改善点などを確認した。

セミナーの最後は、質疑応答と総合ディスカッション、その後はポストテストを行い、セミナー受講生の理解度を再チェックした。

今回のセミナーを通して、実習による手技的な上達だけでなく口腔顔面痛に対する知識・理解も深まっていることが実感できた。本セミナーは中級レベルに相当するセミナーということであった。私自身は口腔顔面痛治療の専門機関には所属しておらず、口腔顔面痛治療に関しては初級といった状態だが、初級に相当する口腔顔面痛ベーシックセミナーを事前に受講していなくても今回のセミナーに無理なく参加することができた。口腔顔面痛治療の専門家であるインストラクターから直接指導を受けることができ、我々受講生にとって非常に充実した実習となった。本セミナーを運営して頂いた講師の先生方に非常に感謝するとともに、学んだ手技・知識を日常臨床に活用していきたいと考えている。本セミナーは毎年 1 回行われる予定となっている。



【著者のプロフィール】 宇田川 源 先生

【略歴】 2012年 昭和大学歯学部卒業

東京女子医科大学歯科口腔外科学教室入局

2014年 牛久愛和総合病院歯科口腔外科医員

2015年 Aarhus University, Section of Orofacial Pain and Jaw Function
Guest researcher

2018年 東京女子医科大学歯科口腔外科学講座 助教

日本口腔顔面痛学会 News Letter へのお問い合わせは「日本口腔顔面痛学会事務局」まで
〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11 一ツ橋印刷株式会社学会事務センター内
TEL: 03-5620-1953, FAX: 03-5620-1960 E-mail: jsop-service@onebridge.co.jp